

受章おめでとうございます

春の叙勲・春の褒章受章者を紹介します。

春の叙勲

瑞宝双光章（教育功労）

成守 主^{つかさ}さん

（志佐・里1、79）



昭和25年4月から昭和61年3月までの35年間の永きに亘り教職員として勤務。また、県教育委員会生徒指導主事や市教育委員会指導主事、昭和52年からは市内の小学校で教頭、校長を歴任され、教職員としてたゆまざる研究・努力を続けられました。特に、自らを律する厳しさと誠実さ、教育に傾けた情熱と実践力で、教育の振興に取り組むなど、非常に大きな功績を残されています。また、温厚な人柄や行動力は、退職後も地域住民の尊敬と信頼を集めています。

瑞宝単光章（消防功労）

前田 恒^{つねたつ}達さん

（鷹島・里、70）



昭和37年9月1日、鷹島村消防団に入団以来35年2カ月間、旺盛なる責任感と積極的な実行力を発揮し、消防の任務遂行にまい進されました。昭和53年には班長、昭和59年に部長に昇進。昭和61年に副分団長、昭和63年には分団長、さらには平成14年に団長に就任され、鷹島町消防団の発展と団員の資質向上に多大な貢献をされました。特に鷹島町は架橋前、本土からの応援体制が容易ではなく、昭和42年に火災現場での即応体制を重視し、団員として初めて島民参加による火災想定訓練を実施しました。

危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章（防衛功労）

田中 幸^{ゆきお}雄さん

（今福・滑栄、61）



昭和42年4月4日、海上自衛隊佐世保教育隊に入隊。以来平成15年3月30日までの約36年間、自衛官として著しく危険性の高い業務に精励されました。常に旺盛な責任感を持って終始積極的に職務を遂行され、自衛隊の充実発展に尽力されました。特に佐世保教育隊教育部教官として、新入隊員に対する教育に全力を傾注し、部隊勤務に必要な基礎的知識・技能を習得させ、同隊の任務遂行に大きく貢献されるとともに、教範および教育資料などを積極的に作成し、教育に反映させるなど同隊の要員教育に大きく寄与されました。

春の褒章

黄綬褒章

井元 則^{のりゆき}之さん

（鷹島・中通、73）



郵便物運送受託者として約40年間、松浦市本土部と鷹島を結ぶフェリーと、島内の郵便局の間の郵便物運送業務に従事されています。荒天などでフェリーが欠航しない限り、家業の鉄工業をしながら、毎日のように郵便物の運送業務を続けられました。郵便物を預かるというその責任の重さを自覚し、一度も郵便物を紛失することなく職務に精励され、郵政事業の発展に、大きく寄与されています。

My Friend's Wedding – 友人の結婚式 –



ハナ・レベッカ・コンクリン
Hana · Rebecca · Conklin
アメリカ合衆国出身

5月1日に高校の時から仲良かった友人が結婚しました。彼女とは10年来の親友で、幸運にも彼女の結婚式で単に立会人としてではなく、スタッフとして参加することができました。

ゴールデンウィークの前後を含めて、友人であるジェシカの結婚式で、詩を朗読するという役目を果たすべく故郷であるアメリカのウィスコンシン州に帰りました。

彼女と新郎のジョエルは、私たちが通った大学がある街のすてきなレストランで結婚式と披露宴を行いました。全てが白で、エレガントなとても美しいものとなりました。結婚式では、ピアニスト、牧師、DJ、ウェディングプランナー、ビデオ担当、そして詩の朗読者もすべて新郎新婦の友人たちが担当しました。二

人の将来の幸せを願う多くの人々が参加し、特別な日をもっと特別になりました。私にとっては、一度に多くの友人たちと再会できる素晴らしい機会でした。本当に感謝しています。

9カ月ぶりに友人たちや家族と会えたことはとてもうれしいことでした。しかし、驚いたことには、9カ月ぶりなんて少しも感じませんでした。まるで前日にコーヒーでも一緒に飲んで別れてたように、何でも分かり合えました。時間や距離があっても、決して忘れたことがない人たちを近くに感じることができて、うれしかったです。

皆さんは、ゴールデンウィークを愛する人々と過ごせましたか？



▲中央がハナ先生



図書館の おすすめ本

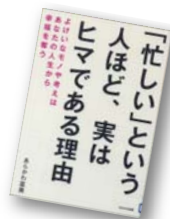
市立図書館
☎ 0956-72-4677

松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索



『いまどきネットだけじゃ、隣と同じ! 「調べる力」』
関沢英彦/アスカ・エフ・プロダクツ

信用できる情報 信用できない情報の「調べ方」のコツのほか、インターネットによる情報洪水のなかで、何が信用できる情報なのか、その識別法を紹介します。



『「忙しい」という人ほど、実はヒマである理由』
あらかわ菜美/WAVE出版

「もったいない生き方」は人生をすりへらす! 仕事や生活を根本から見直し、いまの忙しい人生を、ゆったりのんびりした豊かな人生に変えるヒントを紹介しします。



『姑の言い分、嫁の言い分』
今井美沙子/作品社

“嫁姑”問題は、永遠に不滅一。作家・今井美沙子が、友人知人、大阪の下町、ふるさとの五島列島などから、とっておきのエピソードの数々を集めた、現代“嫁姑”エッセイです。



『世界を変えた人が、子どもだったころのお話』
/PHP研究所

日本をはじめ世界中の偉人たちの「子ども時代」を、わかりやすく魅力的な文章で紹介。約3分くらいで読める話をメインに扱っているので、読み聞かせにぴったりです。



『願いがかなう! 「夢ノート」のすすめ』
中山庸子/PHP研究所

今、あまり褒められなくても、あまり自信がなくても大丈夫! きっと「もっとステキ」になれるから。楽しくて幸せな将来につながる「夢ノート」の作り方・使い方を紹介します。



『ねこじたなのにお茶がすき』
今江祥智/淡交社

名もない子猫が母さんに連れて行かれたのは、気むずかしそつなじいさまの家。じいさまは、猫たちにお茶をたててくれて…。ちょっとふしぎな「茶の湯」をテーマにした絵本です。